

令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

教科	工業					科目	工業情報数理
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	実教出版 工業情報数理

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	4 工業の数理的な基礎計算 産業社会と情報技術 コンピュータの基本操作	計算の順序について復習および確認(学び直し)	○	○	○		
		情報と生活、コンピュータの特徴	○	○	○		
		パソコン・タブレットの基礎知識	○	○	○		
	5 工業数理基礎(面積・体積) 産業社会と情報技術 コンピュータの基本操作	いろいろな形状の面積・体積の計算	○	○	○		
		単位と数理処理	○	○	○		
		情報化と発展と産業社会	○	○	○		
	6 工業数理基礎(工業事象) 産業社会と情報技術 コンピュータの基本操作	単位と数理処理 実験と数理処理	○	○	○		
情報化社会の権利とモラル、情報のセキュリティ対策		○	○	○			
パソコン・タブレットの基礎知識		○	○	○			
7	確認テスト コンピュータの基本操作	1学期確認テスト(1学期学習した内容から出題)	○	○	○		
		答案返却	○	○	○		
2 学期	9 情報技術の活用と問題の発見・解決 数理処理 アプリケーションの基本操作	マルチメディアとプレゼンテーションまで	○	○	○		
		関数電卓の使用法	○	○	○		
		ワードの使い方	○	○	○		
	10 プログラミングの基礎 数理処理 アプリケーションの基本操作	プログラミング言語から流れ図とアルゴリズムまで	○	○	○		
		関数電卓の使用法	○	○	○		
		文章の編集	○	○	○		
	11 プログラミングの基礎 数理処理 アプリケーションの基本操作	プログラミング①	○	○	○		
計算技術検定に向けた学習		○	○	○			
日本語ワープロ検定3・4級の受験指導		○	○	○			
12	確認テスト アプリケーションの基本操作	2学期確認テスト(2学期学習した内容から出題)	○	○	○		
		答案返却	○	○	○		
3 学期	1 プログラミングの基礎 ハードウェア アプリケーションの基本操作	プログラミング②	○	○	○		
		データの表し方	○	○	○		
		日本語ワープロ検定3・4級の受験指導	○	○	○		
	2 プログラミングの基礎 ハードウェア アプリケーションの基本操作	プログラミング③	○	○	○		
		論理回路の基礎	○	○	○		
		日本語ワープロ検定3・4級の受験指導	○	○	○		
	3	学期確認テスト(一年間学習した内容から出題)					
						年間予定授業時間数	105

評価の方法	1.知識・技能(学期末確認テスト) 2.思考・判断・表現(小テスト) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(提出物)
備考	※1クラス2展開で授業(座学)を行う ※パソコン・タブレットの使用法(実技)は全員で授業を行う